

報第5号

令和4年度神奈川県教育委員会表彰（神奈川県学校給食優良学校等表彰）について

令和4年度神奈川県教育委員会表彰（神奈川県学校給食優良学校等表彰）について、神奈川県教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第2項の規定により事務を臨時に代理し、次のとおり被表彰校を決定しましたので、同規則第2条第3項及び教育委員会の指示事項の1の（3）の規定に基づき報告します。

令和4年9月6日提出

神奈川県教育委員会
教育長 花田 忠雄

令和4年度神奈川県学校給食優良学校等表彰被表彰校一覧

1 令和4年度神奈川県学校給食特別優良学校（2校）

学 校 名	学級数	概 要
横浜市立 黒須田小学校	20	<p>【学校の運営体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養教諭を中核とし、学校全体で食育の大切さと食に関する指導をとおして目指す子どもの姿を共有し、様々な取組に反映している。 <p>【創意工夫ある取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食育指導において、生活科や総合的な学習の時間と関連付けた児童発案の独自献立の実施や、児童が校内で栽培している食材を使った給食の提供があり、子どもが主体的に「食」について考えられるよう工夫をしている。 ○ 横浜市地産地消月間として、横浜市の農業振興課、JA 横浜、よこはま学校食育財団と連携して、旬の地場産物を献立に取り入れる活動に積極的に取り組むほか、地元プロスポーツチームとのコラボ企画、農業振興課協力による保護者考案メニューの取り入れなど、多彩な連携を行っている。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校での食育推進の取組成果について、「令和3年度学校における食育推進研修講座」で発表をしており、県内へ発信をしている。
川崎市立 犬蔵中学校	15	<p>【学校の運営体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育目標の実現に向け、食に関する指導計画及び目標を設定するとともに、各教科主任等で構成された食育研究推進委員会により、食育の視点を取り入れた教科横断的な指導體制がとられており、各教科や学校生活全体のなかで全職員が揃って食育に取り組んでいる。 <p>【創意工夫ある取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食育指導に係る職員研修を実施し、給食の意義、教室の環境整備、成長期の栄養を考えた献立の内容、配膳時のルールなど全教員で取り組んでいる。 ○ 全教科の中で食育の視点を取り入れた授業を実施し、特別活動においては栄養教諭による食に関する指導を年間計画に位置づけ、3学年で実施している。 ○ 「和」の食生活を身に着けることを促すため、天然だしを用いた薄味の和食献立や行事食を取り入れたり、生徒の考案したメニューを取り入れる「献立コンクール」を実施したりと特色ある給食を実施している。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和2、3年度に川崎市教育委員会の食育の研究推進校として、学校全体で食育推進に取り組み、研究内容を共有し、市全体に広げている。

2 令和4年度神奈川県学校給食優良学校（3校）

学 校 名	学級数	概 要
相模原市立新宿 小学校	13	<p>【学校の運営体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校給食目標を設定し、低学年・中学年・高学年の発達段階に合わせた給食指導を行うとともに、栄養教諭と担任による食に関する指導が行われている。 <p>【創意工夫ある取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 給食委員会が献立に関する動画を毎月作成し、給食時間に配信している。 ○ 児童が育てた「津久井在来大豆」を使った給食を実施している。 ○ 日常的にも市内産・県内産の食材を多く取り入れるとともに、給食だよりを通して児童や保護者等に紹介を行っている。
小田原市立曾我 小学校	8	<p>【学校の運営体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発達段階に応じた指導目標を設定し、家庭科、社会科などの教科横断的な指導を栄養士、担任、司書が連携して取り組んでいる。 <p>【創意工夫ある取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童と地域の方が育て、収穫した食材を使用した給食の実施。 ○ 朝の読書タイムにおける、食に関連した本の読み聞かせや、読書週間において、図書委員会の児童とともに本に出てくるメニューや食品を給食の献立として企画する「読書メン」を実施している。
神奈川県立 相模原中央支援 学校	74	<p>【学校の運営体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育目標に基づき、教諭、栄養教諭、作業療法士、言語聴覚士、養護教諭が連携し、食に対する興味関心を高め、社会生活に必要な知識、技術を身に付けられるよう指導を行っている。 ○ 「保健」や「生活」、「性教育」の学習について、内容や身体状況に応じた教材を活用した食に関する指導を実施している。 <p>【創意工夫ある取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養教諭、教諭、業務サポーターとの連携により、3つの食品群に使用できる「さがみレンジャー」というキャラクターを作成、当該キャラクターを活用して授業で活用できる動画やスライドを作成した。 ○ 食事環境づくりにおいて、幼児児童生徒の個別指導計画やアセスメントをもとに、個々人への安全かつ自立に向けた食事環境の整備に取り組んでいる。

神奈川県学校給食優良学校等表彰の概要

1 趣旨

学校給食の普及と充実を図るため、学校給食実施上優れた成果をあげてきた学校及び共同調理場を学校給食優良学校等として表彰する。

2 開始年度

昭和31年度

3 表彰の対象

学校給食法（昭和29年法律第160号）に基づく学校給食（完全給食）を実施している義務教育諸学校及び義務教育諸学校の学校給食の業務を行っている共同調理場とする。

ただし、文部科学大臣表彰学校給食優良学校等として過去10年以内に表彰されたことのある学校等は除く。

4 表彰の基準

- 表彰校数は、完全給食実施校のおおむね100校に1校、共同調理場にあつては、20場に1場の割合とする。
- 学校教育活動全体の中で、学校給食の運営体制が整備され、そのもとに食育指導、栄養管理、衛生管理が適切かつ、学校や共同調理場独自の創意工夫による取組により実施され、その教育的効果が顕著であることが認められるなど、県内で他の学校等の模範となるものであること。
なお、共同調理場については、以上のほか労働安全に万全を期し、作業効率を高める業務運営を図り、また、学校への配送等に当たっては適切な配慮をするなど、学校との相互連携により実施していること。

5 被表彰校の一覧（過去10年間）

別紙1「神奈川県学校給食優良学校等表彰受賞校一覧」のとおり

6 審査手続及び今後の予定

別紙2「神奈川県学校給食優良学校等表彰の審査手続について」のとおり

(別紙1)

神奈川県学校給食優良学校等表彰受賞校一覧<過去10年>

区分	神奈川県表彰受賞校等											
	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	湘南三浦	県央	中	足柄上	足柄下	私学	県立	共同調理場
H24			大野北小			小鮎小 (厚木)	桜台小 (伊勢原)				平塚ろう	
H25	名瀬小	王禅寺中央小	夢の丘小			飯山小 (厚木)	松延小 (平塚) 本町小 (秦野)				瀬谷養護	
H26	上菅田小			諏訪小	汐見台小 (茅ヶ崎)	清水小 (厚木)	富士見小 (平塚)		県西 三の丸小 (小田原)		座間養護	
H27	上寺尾小		大沼小	武山小			勝原小 (平塚)				高津養護	
H28	嶮山小		相武台小	鷹取小		厚木小 (厚木)	港小 (平塚)				横浜ひなたやま支護	
H29	日枝小		光が丘小	望洋小		半原小 (愛川)	山下小 (平塚)				中原養護	
H30	いぶき野小		清新小	走水小							小田原養護	
R1	宮谷小		上溝南小	池上小		荻野小 (厚木)					瀬谷養護	
R2	大岡小 間門小		若松小						県西 片浦小 (小田原)		三ツ境養護	
R3	小机小					中津第二 (愛川)						

はその年度の学校給食特別優良学校等

(別紙2)

神奈川県学校給食優良学校等表彰の審査手続について

○ 審査手続

